

## 職場訪問の学生を受け入れました

森林管理局署等(以下、局署という)では、就業体験実習や業務説明会等を通じての学生の職業意識の醸成や、国有林野事業に対する理解の促進に取り組んでおります。

山形森林管理署においても令和7年2月17日(月)から21日(金)までの5日間、学生1名の職場訪問を受け入れ、業務の説明と就業体験のサポート、現地視察を行いました。

初日は局署の概要、勤務時間制度や安全管理について伝達した後、総務・業務・治山の各グループの業務内容に加えて、森林官の業務を説明しました。

2日目から4日目は、庁舎内外での各種の就業体験を実施しました。林道や森林作業道の路網計画の作成、航空レーザー計測結果を活用した森林情報解析等、スマート林業を支える支援ソフトを駆使しての業務を体験していただいた他、オオシラビソの枯損被害の状況と再生への取組の解説も行いました。

また、原木・プレカット材を取り扱う地元の工場や、松くい虫・ナラ枯れ病虫害対策である伐倒駆除を実行中の山形市の千歳山、および立木販売で伐採搬出を行っている上山市の国有林の現地も視察しました。

千歳山では、松くい虫被害木の伐倒駆除の請負者より、雪上での作業で安全確保のため留意していることなどの話を伺いました。実際に伐倒する様子も見学しました。

限られた期間ではありましたが、当署職員の話聞いていただき、実際の作業現場へも足を運んでいただいたことで、業務への理解やイメージを持っていただく機会を持つことができたことと思います。

当署では、今後とも機会がありましたら、今回のような職場訪問に限らず、森林・林業に関する情報・技術の伝達や、国有林野事業へのご理解を深めていただけるような取組を進めてまいります。

